

## How Are Small Businesses Adjusting to COVID-19?

Early Evidence from a Survey (Working Paper No. 26989; Working Paper Series). National Bureau of Economic Research

Bartik, A. W., Bertrand, M., Cullen, Z. B., Glaeser, E. L., Luca, M., & Stanton, C. T. (2020)

この論文では、主に以下の4点が注目されていた。一つ目は、大量の解雇や閉鎖が既に発生していること。これは、中小企業の一時的な廃業・解雇の状況を見て調べる。二点目は、多くの中小企業が財政的に脆弱であること。これは、これまでの文献によって確認されていたことであったが、中小企業の金融の脆弱性の現状を確認し、調べていく。三点目は、企業はCOVID19に関連した混乱の可能性が高い期間について、大きく異なる考えを持っていること。例えばこれは、「危機はいつまで続くのか」という意見の違いのことである。四点目は、大多数の企業はCARES法を通じて資金調達を行うことを計画していたこと。資金調達を行うかの意思決定と、それがレイオフや閉鎖の決定にどのように影響するかということをおこなう。

調査方法はアンケート。Alignableと連携している。Alignableとは、企業が知識を共有し、相互に交流することを可能にしていて、定期的にユーザーにアンケート調査をしている組織だ。

ここで求められることとその結果は、以下の三点である。

### ①COVID-19が事業運営と雇用に与えた現在の影響について

→多くの企業が一時的に営業を停止し、労働者を解雇している

### ②これらの企業の財務の脆弱性について

→貯金÷一ヶ月の支出＝追加の融資なしに事業を維持できる期間

→手元資金が限られているため、レイオフやシャットダウンが蔓延してしまう

### ③危機の持続期間と彼ら自身の経済的な生き残り方の彼らの期待

→調査より、手元資金が多いほうが将来に自信持っていた

危機が短いと考える方が生き残りやすく、危機が長いと考える方が悲観的だった。

私は、この論文を読んで、コロナの影響を中小企業は様々な角度から受けていることを理解した。彼らの気持ちや考え方が被害からの立ち直りに関連している点は驚いた。これは、ネットワークと関わっている気がしたので、私たちの論文で使えそうな部分なのではないか。